

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 117	提案機関名 (一社)神奈川県園芸協会(県植木生産組合連合会)
要望問題名 緑化樹木病害虫の原因究明と対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 平成27年度にキャラボクの枝枯れについて研究要望を出しているところですが、最近増加している観賞樹木の病害虫について、原因の究明と効果的な防除対策の研究を進めていただきたい。 ① イヌツゲの枝枯病：4～5年前からツゲに枝枯れが多発。被害が著しい。 病原菌はカビの一種と言われているが、技術対策の検討をお願いしたい。(別添写真) ② オリーブ：オリーブアナアキゾウムシ、オリーブ梢端枯病 ③ モチの胴枯れ：タイワントガリカミキリが原因と言われているが、葉に虫えいを形成し、放置すると拡大が速く商品価値が著しく低下する。(別添写真) 添付資料 横浜市 横山植木・樹木医 横山一平 氏	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部病害虫研究課
対応区分	①実施 ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 ①イヌツゲの枝枯病：写真では、イヌツゲ枝枯病の可能性が高いと考えます。2012年に、本病の防除薬剤として、チオファネートメチル水和剤(商品名：トップジンM水和剤)が適用拡大されました。茨城県林業技術センターの研究成果情報(平成25年)によりますと、枝枯部分の切除と5月下旬～8月のチオファネートメチル水和剤散布による防除が有効との報告があります。 ②オリーブ梢端枯病：オリーブ梢枯(しょうこ)病の可能性のある症状につきましては、病原を明らかにした上で防除対策を検討する必要があるため、当該症状の診断依頼をお願いします。 ③オリーブアナアキゾウムシおよびモチの胴枯れ：対象病害虫の状況を調査した上で防除対策を検討します。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			